

奈良県教育委員会

# 週報

第2318号

令和元年5月30日発行

## 目 次

| ( 件 名 )                           | (宛 先)  | (主管課)   | (頁) |
|-----------------------------------|--|---------|-----|
| 令和元年度科学の甲子園ジュニア奈良県大会の開催について       | 各市町村教委教育長<br>各中学校長<br>各中等教育学校長<br>各特別支援学校長             | 学校教育課   | 1   |
| 令和元年度奈良県小・中学校国語科書写指導者講習会の開催について   | 各市町村教委教育長<br>各小・中学校長<br>各中等教育学校長<br>各特別支援学校長           | 学校教育課   | 4   |
| 令和2年度奈良県立高等学校入学者選抜実施要項説明会の開催について  | 各市町村教委教育長<br>各中学校長<br>各公立高等学校長<br>各中等教育学校長<br>各特別支援学校長 | 学校教育課   | 6   |
| 令和元年度「不登校『ほっ』とネット」の開催について         | 各市町村教委教育長<br>各学校(園)長                                   | 生徒指導支援室 | 9   |
| 令和元年度アンガーマネージメント基礎研修会の開催について      | 各市町村教委教育長<br>各学校長                                      | 生徒指導支援室 | 11  |
| 令和元年度アンガーマネージメントフォローアップ研修会の開催について | 各市町村教委教育長<br>各学校長                                      | 生徒指導支援室 | 13  |
| 令和元年度第1回体力向上ステップアップミーティングの開催について  | 各市町村教委教育長<br>各小中学校長                                    | 保健体育課   | 15  |
| 家庭教育支援講師の情報提供について                 | 各市町村教委教育長<br>各公立学校(園)長                                 | 教育研究所   | 17  |

(次の週報は、令和元年6月13日(木)発行の予定です。)

各市町村教委教育長  
各 中 学 校 長  
各 中 等 教 育 学 校 長  
各 特 別 支 援 学 校 長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和元年度科学の甲子園ジュニア奈良県大会 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、参加についてよろしく申し上げます。

### 記

#### 1 趣 旨

理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、県内中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付く。また、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成する。

#### 2 期日及び会場

令和元年 8 月 2 4 日（土）

県立教育研究所 磯城郡田原本町秦庄 2 2 - 1

#### 3 参加対象者

県内中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の生徒

#### 4 日 程

1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 1 0 開会式

1 0 : 2 0 ~ 1 1 : 3 0 筆記競技（団体戦）

1 2 : 3 0 ~ 1 4 : 0 0 実技競技（団体戦）

1 4 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0 講評、閉会式

#### 5 出場チームの構成員

（1） 出場チームは中学校（部）1、2 学年の生徒（中等教育学校前期課程にあっては同年次の生徒）で構成する。

- (2) 出場チームの員数は、6人とする。
- (3) 出場チームは、各校1チームとする（在籍生徒数が6人に満たない学校を含む場合は、複数校でのチームの編成を可とする。）。

## 6 競技の種類

### (1) 筆記競技

理科、数学等の複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した出題とし、生徒の習得済みの知識に加えて、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決する内容とする。

### (2) 実技競技

ものづくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する力を競う内容とする。

## 7 競技の形式

6人からなる競技チームを構成し、チーム全員で課題を分担、相談するなど協働して、その成果を競い合う形式とする。

## 8 順位の決定

- (1) 筆記競技、実技競技の点数の合計によって優勝チームを決定する。
- (2) 優勝チームは、令和元年12月6日（金）～8日（日）に茨城県で開催される全国大会の出場権を得る。

## 9 参加申込み及び問合せ先

### (1) 市町村立中学校から参加する場合

参加希望校において、別紙様式により参加申込書を作成し、市町村教育委員会を通じて下記宛て郵送で申し込むこと。

### (2) (1)を除く中学校、中等教育学校、特別支援学校から参加する場合

参加希望校において、別紙様式により参加申込書を作成し、下記宛て郵送で申し込むこと。

〒630-8502 奈良市登大路町30

奈良県教育委員会事務局学校教育課義務教育係 指導主事 富倉 勇

TEL 0742-27-9854

FAX 0742-23-4312

## 10 参加申込期限

令和元年7月26日（金）

## 11 その他

- (1) 会場へは当該学校等の教員が生徒を引率すること。
- (2) 参加者は、直定規、コンパス及び昼食を持参すること。

年 月 日

奈良県教育委員会事務局  
学 校 教 育 課 長 殿

学 校 名

学 校 長 名

印

## 令和元年度科学の甲子園ジュニア奈良県大会参加申込書

## 1 担当教員

| 氏名 | 電話番号 | メールアドレス (※) |
|----|------|-------------|
|    |      |             |

## 2 参加生徒

| 氏名 | フリガナ | 性別 | 学年 |
|----|------|----|----|
|    |      |    |    |
|    |      |    |    |
|    |      |    |    |
|    |      |    |    |
|    |      |    |    |
|    |      |    |    |
|    |      |    |    |

※ 本書による申込みを受理した旨、令和元年8月2日（金）までに担当教員宛てに電子メールにて通知します。

各市町村教委教育長  
各小・中学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

}

殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和元年度奈良県小・中学校国語科書写指導者講習会 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 目 的

子どもたちが楽しく自主的に学ぶための授業に生かせる書写指導の講習会を実施し、国語科書写教育の振興・充実と指導力の向上を図る。

#### 2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県小・中学校書写教育研究会

#### 3 期日及び会場

令和元年 8 月 1 日（木）

いかるがホール 生駒郡斑鳩町興留 1 0 - 6 - 4 3

#### 4 参加対象

県内小学校、中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小・中学部の教員

#### 5 日 程

9 : 4 5 ~ 1 0 : 0 0 開講式

1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0 硬筆の基礎

1 1 : 1 0 ~ 1 2 : 1 0 毛筆の基礎

1 3 : 1 0 ~ 1 4 : 1 0 行書の基礎

14：20～15：20 授業に生かせる作品づくり

15：20～15：40 閉講式

6 講師

奈良県小・中学校書写教育研究会 会長 生井 圭造 他、同研究会役員及び幹事

奈良県教育委員会事務局学校教育課 指導主事 藤井 義秀

7 準備物

(1) 鉛筆（B又は2B）

(2) 毛筆書写用具一式

8 参加費

無料（ただし、資料代及び材料費は参加者負担）

9 参加申込み

平成31年4月4日付け週報第2314号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、令和元年7月12日（金）までに下記宛てFAX又は郵便で申し込むこと。

また、各校に配布した会誌の申込様式による申込みも可

〒630-0226 奈良県生駒市小平尾町927 生駒市立生駒南第二小学校内

奈良県小・中学校書写教育研究会事務局 諸岡 恭子

FAX 0743-76-7255

10 その他

参加希望が定員（50名）になり次第、締切とする。

各市町村教委教育長  
各中学校長  
各公立高等学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

令和2年度奈良県立高等学校入学者選抜  
実施要項説明会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係者の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 開催日時・会場等

| 開催日時                | 会 場     | 参 加 学 校 所 在 地 域                                      |
|---------------------|---------|--|
| 9月12日(木)<br>13時30分～ | 県立教育研究所 | 奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、<br>生駒市、山辺郡                  |
| 9月13日(金)<br>13時30分～ | 県立教育研究所 | 桜井市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、宇陀市、<br>生駒郡、磯城郡、宇陀郡、高市郡、北葛城郡、吉野郡 |

参加日時は、原則としてこの表のとおりとする。

2 参加対象者

- (1) 中学校 2名（校長又は教頭1名及び教諭等1名）
- (2) 高等学校 各課程ごとに1名（教頭）



### 3 日 程

- 13：30～13：40 挨拶、日程説明  
13：40～16：10 入学者選抜実施要項等の説明  
16：10～16：30 質疑応答等

### 4 参加申込み

別紙様式により、令和元年7月31日（水）までに下記宛て郵送で申し込むこと。

〒630-8502 奈良県奈良市登大路町30  
奈良県教育委員会事務局 学校教育課長  
TEL 0742-27-9851

### 5 持参品

- 「令和2年度奈良県立高等学校入学者選抜概要」（7月上旬に配布予定）  
「令和2年度奈良県立高等学校入学者選抜実施要項」（9月上旬に配布予定）

### 6 その他

当日、各選抜の入学願書を、中学校等に対し次の基準により配布する。

〔配布基準〕

- (1) 特色選抜・大和中央高校〔A選抜〕・帰国生徒等特例措置に使用する入学願書  
第3学年在籍生徒数×0.6（端数は、10枚単位に切上げ）
- (2) 一般選抜・二次募集・大和中央高校〔B選抜〕に使用する入学願書  
第3学年在籍生徒数（端数は、10枚単位に切上げ）

( 様 式 )

令和 2 年度奈良県立高等学校入学者  
選 抜 実 施 要 項 説 明 会 参 加 申 込 書

年 月 日

奈良県教育委員会事務局  
学 校 教 育 課 長 殿

学 校 名

(電話番号 — — )

校 長 名



下記のとおり申し込みます。

記

|         |               |
|---------|---------------|
| 参 加 月 日 | 9 月 日 ( )     |
| 参 加 会 場 | 県 立 教 育 研 究 所 |
| 参 加 者   |               |
| 職 ・ 氏 名 |               |

各市町村教委教育長 }  
各学校（園）長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和元年度「不登校『ほっ』とネット」の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係者の参加についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 趣 旨

県内の幼児児童生徒の保護者や教育関係者が、この「不登校『ほっ』とネット」を通して互いの経験や悩みを語り合い、相互のつながりを築く機会とするとともに、不登校幼児児童生徒への関わり方について考える。

#### 2 日時及び会場

令和元年 7 月 2 0 日（土） 1 3 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0

県立教育研究所 磯城郡田原本町秦庄 2 2 - 1

#### 3 参加対象者

県内の幼児児童生徒の保護者、教員及び教育関係者等

#### 4 日 程

1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0 情報交換会

1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0 地域別交換会

#### 【 情報交換会 】

##### A 小学生への支援

発表者 保護者

指導助言者 関西学院大学 教授 山本 健治 氏

##### B 中学生への支援

発表者 保護者

指導助言者 天理大学 教授 千原 雅代 氏

C 高校生への支援

発表者 保護者

指導助言者 立命館大学 教授 春日井 敏之 氏

【 地域別交換会 】

D 県北部の部

E 県中部の部

F 県南部の部

5 参加申込み

氏名、参加を希望する情報交換会（A～C）を記入の上、7月16日（火）までにはがき、電話又はFAXで下記宛て申し込むこと。

なお、当日の参加も受け付けるが、可能な限り、事前に申し込むこと。

〒636-0343 磯城郡田原本町秦庄22-1（県立教育研究所内）

奈良県教育委員会事務局 生徒指導支援室 教育相談係

TEL 0744-33-8904

FAX 0744-32-9506

6 その他

可能な限り、公共の交通機関を利用すること。

各市町村教委教育長 }  
 各 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

令和元年度アンガーマネージメント基礎研修会の開催  
 について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係者に周知されるとともに参加について  
 よろしくをお願いします。

記

1 目 的

教職員の児童生徒への理解を深め、問題行動等の予防的視点に立った支援や、きめ細かな個  
 別の支援を充実させるために、アンガーマネージメント手法の基礎理論を習得する。

2 期日、日程及び研修内容

|     | 期 日           | 日 程             | 研修内容                      |
|-----|---------------|-----------------|---------------------------|
| 第1回 | 令和元年6月27日（木）  | 14：30<br>～16：30 | 認知行動療法の構造とアンガーマネージメントの諸概念 |
| 第2回 | 令和元年7月11日（木）  | 14：30<br>～16：30 | 行動パターンの理解とキレイやすい考え方の理解    |
| 第3回 | 令和元年8月8日（木）   | 14：30<br>～16：30 | マネージメントスキルと避けた方がよい対応      |
| 第4回 | 令和元年10月17日（木） | 14：30<br>～16：30 | 認知行動療法に落とし込む演習と面接練習       |
| 第5回 | 令和元年11月21日（木） | 14：30<br>～16：30 | 認知行動療法に落とし込む演習と面接練習       |
| 第6回 | 令和2年1月9日（木）   | 14：30<br>～16：30 | 事例検討と面接練習                 |

3 場 所

県立教育研究所 中講座室7 磯城郡田原本町秦庄22-1

4 参加者

県内小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員  
市町村教育委員会事務局指導主事

5 研修講師

早稲田大学 教育学部教育心理学専修 非常勤講師

県教育委員会スクールカウンセリングカウンセラー 小西 好彦 氏

6 参加申込み

平成31年4月4日付け週報第2314号掲載の参加基本様式により、令和元年6月17日  
(月)までに下記宛てFAXで申し込むこと。

奈良県教育委員会事務局生徒指導支援室生徒指導係

TEL 0742-27-5435

FAX 0742-27-1021

7 備 考

会場の都合上、人数に限りがあるため約30名を定員とし、定員を超える申込みがあった場  
合は申込み先着順とする。

各市町村教委教育長 }  
 各 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

令和元年度アンガーマネージメントフォローアップ研修会  
 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係者に周知されるとともに参加について  
 よろしくをお願いします。

記

1 目 的

教職員の児童生徒への理解を深め、問題行動等の予防的視点に立った支援や、きめ細かな個別の支援を充実させるために、アンガーマネージメント手法の実践内容についての検証と整備を行う。また、学校全体としてアプローチするために研修既修者が中心となり、全教職員が適宜適切な支援と指導が行える体制の構築を目指す。

2 期日、日程及び研修内容

|     | 期 日           | 日 程             | 研修内容      |
|-----|---------------|-----------------|-----------|
| 第1回 | 令和元年8月8日（木）   | 10：00<br>～12：00 | 事例検討と面接練習 |
| 第2回 | 令和元年12月26日（木） | 14：30<br>～16：30 | 事例検討と面接練習 |
| 第3回 | 令和2年2月13日（木）  | 14：30<br>～16：30 | 事例検討と面接練習 |

3 場 所

県立教育研究所 中講座室4 磯城郡田原本町秦庄22-1

4 参加者

昨年度までに県教育委員会主催のアンガーマネジメント研修を修了した者

5 研修講師

早稲田大学 教育学部教育心理学専修 非常勤講師

県教育委員会スクールカウンセリングカウンセラー 小西 好彦 氏

6 参加申込み

平成31年4月4日付け週報第2314号掲載の参加基本様式により、令和元年6月17日(月)までに下記宛てFAXで申し込むこと。

奈良県教育委員会事務局生徒指導支援室生徒指導係

TEL 0742-27-5435

FAX 0742-27-1021

7 備考

会場の都合上、人数に限りがあるため約30名を定員とし、定員を超える申込みがあった場合は申込み先着順とする。



各市町村教委教育長 }  
各 小 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和元年度第 1 回体力向上ステップアップミーティングの 開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 趣 旨

小学校教員が、奈良県児童の体力の現状や課題、体力向上の取組についての理解を深め、各学校における体力向上の取組や体育指導の充実と発展を図ることを目的とする。

また、各運動領域の実技研修や学校体育活動全般に関わるワークショップ、各校の体育的課題についての情報交換を通して、教員の指導力と資質向上に役立てる。

#### 2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県体力向上推進連絡会

#### 3 期日及び会場

##### 【北部地域】

令和元年 6 月 2 1 日（金）

大和郡山市総合公園施設 金魚スクエア 大和郡山市矢田山町 2

##### 【南部地域】

令和元年 6 月 2 8 日（金）

ジェイテクトアリーナ奈良 橿原市畝傍町 5 1

#### 4 参加対象者

県内小学校教員

※各校 1 名、体育主任の参加を原則とし、参加地域については下記のとおりとする。都合

がつかない場合は別地域で参加するか、各校の体育部所属の教員が参加すること。

【北部地域】 奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市、山添村、生駒郡、北葛城郡

【南部地域】 大和高田市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、香芝市、葛城市  
宇陀市、磯城郡、宇陀郡、高市郡、吉野郡

## 5 日 程

13:30～14:00 受 付

14:00～14:10 開会行事

14:10～16:30 講義、実技

「心と体をほぐす表現運動・ダンスの授業」

講師 天理大学体育学部 教授 塚本 順子 氏

16:30～16:50 まとめ、閉会行事

## 6 申込方法

平成31年4月4日付け週報第2314号掲載の参加基本様式により、参加日（地域）を記入の上、国、県及び私立学校については直接、市町村立学校については市町村教育委員会を通じて、令和元年6月18日（火）までに下記宛てFAXで申し込むこと。

奈良県教育委員会事務局保健体育課学校体育係

FAX 0742-22-3995

## 7 その他

運動のできる服装、体育館シューズを持参すること。また、水分補給を含め各自で体調に留意し参加すること。

各 市 町 村 教 委 教 育 長 }  
各 公 立 学 校 ( 園 ) 長 } 殿

奈 良 県 教 育 委 員 会 教 育 長

## 家 庭 教 育 支 援 講 師 の 情 報 提 供 に つ い て ( 通 知 )

こ の こ と に つ い て 、 別 表 の と お り 講 師 の 情 報 提 供 を 行 い ま す の で 、 家 庭 教 育 に 関 す る 研 修 に つ き ま し て 積 極 的 な 活 用 を お 願 い し ま す 。

### 記

#### 1 目 的

保 護 者 や 教 職 員 そ の 他 の 家 庭 教 育 関 係 者 が 抱 え る 家 庭 教 育 に 関 す る 課 題 を 解 決 し 、 家 庭 教 育 が 一 層 充 実 し た も の に な る た め の 支 援 を 行 う た め 、 家 庭 教 育 の 各 分 野 に お い て 識 見 と 経 験 に 富 む 人 材 を 登 録 し 、 情 報 の 提 供 を 行 う 。

#### 2 講 師 情 報 を 利 用 す る 際 の 事 務 手 続 き 等

講 演 等 を 希 望 す る 講 師 に つ い て 、 講 演 等 の 主 催 者 は 、 「 家 庭 教 育 支 援 講 師 情 報 を 利 用 す る 際 の 事 務 手 続 き に つ い て 」 < 別 添 > 及 び 「 令 和 元 年 度 家 庭 教 育 支 援 講 師 名 簿 」 < 別 表 > に 基 づ き 、 教 育 研 究 所 長 宛 て 「 家 庭 教 育 支 援 講 師 紹 介 依 頼 書 」 < 別 紙 > で 申 し 込 む こ と 。

#### 3 経 費 に つ い て

講 演 等 に 係 る 経 費 は 、 全 て 講 師 依 頼 者 の 負 担 と す る 。

#### 4 問 合 せ 先

県 立 教 育 研 究 所 教 育 経 営 部 教 育 企 画 係 安 藤

TEL 0744-33-8902

## 家庭教育支援講師情報を利用する際の事務手続きについて

### 1 講師の依頼

- (1) 講演等を希望する講師について、講演等の主催者（以下「主催者」という。）は、「家庭教育支援講師情報を利用する際の事務手続きについて」<別添>及び「令和元年度家庭教育支援講師名簿」<別表>に基づき、教育研究所長宛て「家庭教育支援講師紹介依頼書」<別紙>で申し込む。
- (2) 教育研究所からの講師紹介を受け、主催者は、下記2「依頼の際の配慮事項」に基づき、講師に講演等の依頼を行う。
- (3) 主催者は、日程決定後、教育研究所に報告する。

### 2 依頼の際の配慮事項

- (1) 講師依頼者は、主催者として、講演の日程調整及び内容の調整・企画等について、責任をもって対応すること。
- (2) 講演等に係る経費は、全て講師依頼者の負担とする。  
ただし、別途定める「へき地学校に係る家庭教育支援事業実施要領」に基づいて、奈良県教育委員会と共催で実施することが承認されたものについてはこの限りでない。

### 3 事後アンケートへの協力

主催者は、本事業を効果的で有意義なものとするため、アンケートに協力するものとする。  
アンケートは、教育研究所のWebページから印刷し、FAX又は郵送で下記連絡先まで送付すること。

#### 連絡先

奈良県立教育研究所教育経営部教育企画係 安藤

〒636-0343 磯城郡田原本町秦庄22-1

TEL 0744-33-8902

FAX 0744-33-8909

<別 表>

令和元年度 家庭教育支援講師名簿

(五十音順・敬称略)

| 番号 | 氏名                 | 所属・資格等   | 専門分野   |
|----|--------------------|--|--|
|    |                    | 講演・指導等の内容  |  |
| 1  | いけしまとくひろ<br>池島 徳大  | 国立大学法人兵庫教育大学大学院 特任教授   | 臨床心理学<br>学校教育臨床<br>生徒指導<br>家庭教育<br>子育て相談<br>指導者育成  |
|    |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの心の扉をひらく家庭教育</li> <li>・子どもの成長エネルギーを高める子育て</li> <li>・ピア・サポート</li> <li>・子ども同士のもめごと問題への対応</li> </ul>   |  |
| 2  | いわはしあきこ<br>岩橋 明子   | 帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科 准教授<br>管理栄養士<br>健康運動指導士  | 公衆栄養学  |
|    |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の食生活</li> <li>・学童期の食生活</li> <li>・思春期の食生活</li> </ul>   |  |
| 3  | こじま ようへい<br>小嶋 洋平  | 保育士  | 体育あそび  |
|    |                    | 子どもの体力向上   |  |
| 4  | すおう みちこ<br>扇防 美智子  | 岡山県立大学保健福祉学科 准教授   | 児童福祉<br>子ども家庭福祉<br>スクールソーシャルワーク<br>児童精神保健  |
|    |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育ち</li> <li>・子どもの権利</li> <li>・地域の子育て支援</li> <li>・園・学校における子ども理解と支援</li> <li>・児童虐待予防</li> <li>・いじめ予防</li> </ul>  |  |
| 5  | すずき ようこ<br>鈴木 洋子   | 国立大学法人奈良教育大学 教授<br>博士(栄養学)・教育学修士   | 家庭科教育学<br>食育   |
|    |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活に関すること</li> <li>・子どものお手伝いに関すること</li> </ul>  |  |
| 6  | にしもと たつろう<br>西本 達郎 | 運動教室「わんぱくキッズ」代表<br>株式会社codomo 代表取締役  | 幼児・小学生の運動指導(未就園児可)   |
|    |                    | 幼児・小学生の運動指導(未就園児可)   |  |
| 7  | はしもと たかし<br>橋本 高志  | 地域教育支援みらいベグ代表<br>奈良市教育委員会 教育センター9階運営アドバイザー   | 親子あそび 体育あそび 工作あそび 自然あそび<br>レクリエーション(理論・実践)<br>野外活動 青少年活動 環境教育<br>コミュニケーションワーク グループワークトレーニング<br>障害のある青少年のキャリア教育 |
|    |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で楽しむ体育あそび・工作あそび・自然あそび</li> <li>・父親向け育児あそび教室・子どもとふれあいあそび</li> <li>・ふれあいコミュニケーション講座・青少年活動・ボランティア活動</li> <li>・野外活動の理論・実践</li> <li>・レクリエーション理論・運営法・実践</li> <li>・親子のコミュニケーション</li> <li>・将来の夢</li> </ul> |  |

| 番号 | 氏名                 | 所属・資格等  | 専門分野   |
|----|--------------------|---|--|
|    |                    | 講演・指導等の内容   |  |
| 8  | ほうき かずこ<br>法貴 和子   | CAP(子どもへの暴力防止)スペシャリスト<br>コミュニケーションスキルインストラクター<br>心理カウンセラー<br>2級キャリアコンサルティング技能士  | 人権<br>暴力防止教育 CAPの活動(いじめ 連れ去り 虐待)<br>コミュニケーション<br>心理カウンセラー<br>キャリアコンサルティング  |
|    |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに勇気と自信を(CAPの活動)</li> <li>・子どもが暴力を受けずに育つことの大切さ</li> <li>・子どもが育つ毎日のコミュニケーション</li> <li>・子どもに愛が伝わっていますか</li> <li>・良い人間関係を築くコミュニケーション</li> </ul>  |  |
| 9  | もうり いくに<br>毛利 育子   | 大阪大学大学院連合小児発達学研究所<br>小児発達神経学 准教授  | 小児神経<br>神経発達<br>発達障害<br>睡眠   |
|    |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害</li> <li>・睡眠</li> <li>・睡眠障害</li> </ul>   |  |
| 10 | もりさき かずよ<br>森崎 和代  | 女性ライフサイクル研究所フェリアン 講師<br>CAP(子どもへの暴力防止)スペシャリスト   | 子育て<br>コミュニケーション<br>女性の生き方<br>子育て支援<br>ストレスマネジメント<br>虐待防止<br>怒りのコントロール<br>人権(子ども・女性)   |
|    |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの気持ちに寄り添う子育て</li> <li>・ストレスと上手に付き合おう～より良い子育て・自分育てのために～</li> <li>・子育ての悩みがチャンスに変わる!?</li> <li>・我が子の成長に感ったら～ピンチはチャンスかも!??～</li> <li>・思春期の子どもに寄り添うために</li> <li>・子どもにキレてしまいそうとき～子育て中の怒りをコントロールしよう～</li> <li>・聴いてみるとオモシロイ、子どものキモチ(幼児)</li> </ul> |  |
| 11 | やまだ しづよ<br>山田 静代   | 奈良YMCA 心理カウンセラー 臨床心理士<br>「心のフリースクール」チーフスタッフ・カウンセリング   | 親子の心理的な関係の問題<br>うつ   |
|    |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師のストレス</li> <li>・クラス運営</li> <li>・子どもの問題は、子どもが困っている問題</li> </ul>  |  |
| 12 | よこやま ゆきこ<br>横山 由紀子 | 「会話の泉」事務局長<br>コミュニケーション・サポーター   | 気持ちを大切に作るコミュニケーション   |
|    |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て</li> <li>・ピア・メディエーション</li> <li>・HSCの育て方</li> <li>・就職活動</li> <li>・アサーション</li> <li>・聴く力</li> <li>・人間関係改善</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア養成</li> <li>・リーダー養成</li> <li>・地域活動の円滑化</li> <li>・シニアコミュニケーション</li> <li>・人材育成</li> <li>・ハラスメント研修</li> </ul> |

<別紙>

## 家庭教育支援講師紹介依頼書

年 月 日

教育研究所長 殿

学校園名  
校園長名  
(団体代表者名)



担当者 職名 氏名

電話番号 ( ) FAX ( )

このことについて、下記のとおり申し込みます。

### 記

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 希望講師名                 |   |
| 希望日                   | 年 月 日 ( ) ( ) 時 ~ ( ) 時                                       |
| 実施場所                  |   |
| 講演テーマ<br>及び概要         |   |
| 参加対象者<br>及び<br>参加予定人数 | 教職員 : ( ) 名 } 合計<br>保護者 : ( ) 名 } ( ) 名<br>その他※ ( ) : ( ) 名 } |

※教職員、保護者以外の参加者のある場合は、( ) 内に具体的に記入してください。

(教育研究所記入欄)